

広報
9月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



秋の風景

〈主な内容〉

時の視点

「中国・その他近辺国への輸出と海外市況について」 2~4

国際紙パルプ商事(株) 事業本部長 生田 誠

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会 4~5

第27回 古紙関係協議会 6~7

東京返本加工協同組合 第48回 通常総会 7~9

青年部長就任の挨拶 青年部長 辻 忠敏 9

理事就任の挨拶 文京支部 川又伸一 9~10

〃 荒川支部 宮内啓悟 10

〃 山手支部 鈴木邦浩 10

〃 城南支部 井出一之 10

青年部幹事長就任の挨拶 城北支部 工藤嗣人 11

青年部総会報告 青年部幹事長 工藤嗣人 11

清風会研修会及び納涼会 事務局 11

直納部委員会及び納涼会 事務局 12

組合主催ゴルフコンペ開催 広報部副部長 武田誠一郎 12

製本工組との親睦ゴルフコンペ

理事 梨本竜範 12~13

青年部幹事会及び納涼会 青年部 大橋宏之 13

支部便り

支部長訪問

「中央支部訪問」 荒川支部長 廣田圭吾 14

従業員慰安会 山手支部 中谷浩康 14

納涼会を開催 城南支部長 坂田 智 14~15

〃 文京支部長 齋藤浩二 15

〃 江墨支部 木内茂樹 15

〃 台東支部 坂田雄司 16

組合員の広場

「ガソリンカードのご利用」について 事業部 16

支部スケジュール 17

お知らせ 17

「9月・10月会議・催事予定」「古紙価格」「計報」 17~18

会議概要〔6月・7月〕 18~26

編集後記 広報部副部長 脇 克美 27

広告 28

時の視点

「中国・その他近辺国への輸出と 海外市況について」

国際紙パルプ商事株式会社

製紙原料事業本部長 兼 パルプ部長

生田 誠



1. 中国の製紙産業の現状

2012 年の中国の紙・板紙生産量は 102,500 千 t 同消費量は 100,480 千 t と初めて 1 億 t を超過し、実に世界の 25% を占める最大の製紙大国となってきた。2000 年の実績は約 30,000 千 t であり、僅か十数年の間に 3 倍以上拡大したことになる。

但し、伸び率は明らかに鈍化しており、2012 年は対前年比約 3% に留まっており、2011 年の対前年伸張率が約 7% であったことから見ても減速感は一層明らかである。

また、急激な生産能力拡張に需要が追い付かず、特に今年に入ってから中国経済の減速感と欧州経済の不振に伴う輸出品の減量により梱包素材としての段ボール、白板紙の製品需要が落ち込み価格が大きく下落、大手、中小を問わず厳しい採算を余儀なくされている。

習近平政権はリーマンショック後に打ち出した 40 兆円規模の経済刺激策が各方面での設備過剰と環境悪化を招く要因となったとして金融引き締

めと環境対策を重点的に実施しており、製紙産業に於いても GREEN FENCE 政策と公害対策の出来ていない小規模工場の強制的閉鎖（2012 年末までに 274 工場 6.21 百万 t / 年規模をリストアップ）を断行している。然しながら、一方で 2013 年の GDP 伸張率最低 7% 維持の方針を打ち出しており、製紙業界も生産、需要共に前年並みの 1 億 t / 年超、原料としての古紙の輸入量も同様 30 百万 t / 年超はキープするものと予測される。（2013 年 1 ～ 6 月古紙輸入実績 14.9 百万 t）。

2. 古紙輸出価格の現状と見通し

2013 年 2 月、欧州 MIX の医療廃棄物混入発見に伴い中国当局は GREEN FENCE 政策を 11 月まで強化すると発表。シップバックを嫌う欧米古紙業者が ONP、MIX の対中輸出を敬遠する一方で、船を自社手配する大手製紙メーカーはこれら欧米古紙を安く買叩くことで大量調達している。その結果、上記大手メーカーの日本品に対する買い意欲はそれほど強くはないものの、その他のメーカーは高品質の JONP、JMIX への依存を高めており、価格もジリ高基調に転じてきている。OCC については米国経済が回復基調にあり、住宅関連を中心に消費物資の流通が活発化していることもあり段ボール需要は好調であり、原料としての AOCC は高値圏で取引されている。

JOCC も AOCC 価格の上昇につられ、\$ 210/MT 超まで回復してきている。当面強含み横ばい傾向が続くものと思われる。



【主要 3 品の対中輸出価格推移】

単位：US \$/MT

	6/20	7/4	7/30	8/30	年内 見込
JOCC	200	202	210	212	210 ～ 220
JONP	200	203	204	206	205 ～ 210
JMIX	170	167	160	167	165 ～ 175
AOCC	220	220	228	228	220 ～ 230
AONP	175	171	165	158	155 ～ 165
AMIX	173	165	150	150	145 ～ 150
EOCC	193	187	190	193	190 ～ 200
EONP	190	180	172	165	160 ～ 170
EMIX	155	155	145	140	140 ～ 150

3. 中国以外の東南アジア状況

全世界の紙・板紙生産量は約 4 億 t/ 年。中国と日本を除く東南アジアの生産量は 50 百万 t。

①韓国 11.5 百万 t ②インドネシア 10 百万 t

③インド 10 百万 t ④タイ 4.5 百万 t。

台湾、ベトナム、マレーシア、フィリピン等々と続く。将来的にはインドネシア、タイ、ベトナムが古紙輸出先として有望である。

4. 古紙輸出の長期的展望

中国の古紙回収量は漸増しているものの回収率（回収量 / 消費量）はここ 3 年 44 ～ 45 % と伸び悩んでいる。輸出産品のパッケージとしての海外流失分を差し引き且つ経済的回収圏という観点で踏まえた古紙回収可能率という点から見るとかなり高い回収率となっていると見るべきである。

また、10 百万 t/ 年を超える非木材パルプ（藁、竹、バガス等）は環境問題から段階的廃業を余儀なくされており、代替原料として経済的側面から古紙利用の増加が見込まれる。

その中であって日本は船足 3 日間という好立地にあること、品物がきれいで GREEN FENCE にかからないという好条件が揃っていることから巷間言われている 2015 年問題は杞憂に終わると思われる。

品質向上こそが輸出継続の鍵である。

	国際紙パルプ商事株式会社 KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.
本社所在地	〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
設 立	1924年(大正13年)12月1日

資 本 金	34億4,278万円
従 業 員 数	715名 2013年(平成25年)4月1日現在
代 表 者	代表取締役社長 田辺 円
国内事業所	7ヶ所(東京・大阪・名古屋・福岡・ 京都・仙台・札幌)
海 外 営 業 拠 点	23ヶ所(KPP中国、現地法人等含む)
主 事 業 内 容	紙・板紙・紙加工品・パルプ・古紙・ 化成品・紙関連機械・包装資材・ その他関連商品の売買及び 輸出入ならびに不動産の保有、 賃貸、倉庫業

時 の 話 題

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

平成25年6月27日(木) 午後2時00分～
於) 富士工業技術支援センター

出席者： 静岡県紙業協会家庭紙部会 21名
(内、家庭紙メーカー18名)
静岡県製紙原料商業組合 11名
東京都製紙原料協同組合 10名

三団体代表挨拶

イデシギョー(株) 井出会長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

昨年は3回、製品価格の修正が期待されたが、結

果的に製品価格が下がってしまった。最近、燃料費や原材料の価格が上がっておりコストを非常に圧迫している。アベノミクスの円安の影響で、輸入紙が減り国内生産が増え、輸出の需要も出てきた。今が製品の価格修正に適した時期だと思われるのではないかな。

近藤理事長 〔東京都製紙原料協同組合〕

産業古紙は今までにない発生減と在庫減になっている。裾物3品も大変低い在庫率となっている。その一方で輸出は、雑誌以外は前年をオーバーしており内外価格差が出ている。古紙業者の中には国内メーカーと取引しても採算が合わず輸出に廻っていると聞いています。発生が少ない中、洋紙メーカーの操業が上がってきており、メーカーへの安定供給に不安が出てきています。本日は情報交換をしながら、それらの点を確認し検討していきたいと思います。

佐野理事長 〔静岡県製紙原料商業組合〕

静岡商組では家庭紙原料の在庫データをとっていませんが、今後、取れるようにしていきたいと思っています。裾物3品の需給データで見ても在庫が少なく逼迫しています。おそらく家庭紙原料においても同じだと思います。本日は情報交換を密にしながら確認していきたいと思います。

古紙全般の市況について

赤染直納部長 〔東京都製紙原料協同組合〕

古紙全般の市況は、洋紙は円安の影響で輸入品が減少し、その分、国内の生産が増えている。板紙は飲料関係が好調。洋紙向けの古紙の注文が増えている。東京協組の44社の上物古紙在庫報告では過去1年で家庭紙、DIP向け共に一番低い在庫量となっている。各問屋の古紙在庫はランニングストックを切っている。原料の安定供給に苦労

している。板紙の生産が延びており段古紙の在庫は減少している。

東京協組で行っている6月度の共販輸出は国内価格を上まわる価格で落札された。輸出価格は内外格差が広がっており、これからも上向いていくと予想される。

裾物3品の発生が悪く、6月の関東商組の39社統計では前年比、前月比ともに100%を切っている。現在は古紙の安定供給が非常に困難な状況となっている。

家庭紙原料について

上田色上委員長 [東京都製紙原料協同組合]

家庭紙原料の発生は非常に低調。輸出が好調でオフィス古紙は国内に入る量が減少している。為替の影響で輸入品が減っている。古紙問屋はメーカーからのレギュラー分の出荷を確保するのがやっとで追加分には答えられない状況が続いている。納入義務があるので古紙在庫が潤沢のメーカーへはキャンセルをして不足している所へ廻している状態である。

集荷について

近藤(昌)副理事長 [東京都製紙原料協同組合]

発生が悪い。以前は繁忙期が1年内で3月と10月にあったが、今は3月だけになってしまった。今年の3月は前年よりも悪かった。昨年に古紙原料の値下げが2回あったが、製本・印刷会社では古紙代金の収入をあてにしている。

現在の価格では選別費が出て来ない。東京協組の集荷業者は家庭紙ケントをメインにしている所が多いが、利益を考えると選別のいらぬ雑誌に廻さざるを得ない。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

発生は低調で在庫はランニングストック状態である。産業古紙は景気に左右されるので、何とかオフィス古紙等でカバーしている現状。

パソコン等の普及で紙から紙以外のものに素材が変更している。紙が早いスピードでデジタル化している。紙に代わりホームページでの広告や、紙パックからペットボトルに変更される等で、ますます発生が少なくなっている。

家庭紙メーカーの現状

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

古紙原料の入荷が悪い。色々な古紙を幅広く使うよう努めている。原料在庫は操業に影響が出るほどではない。在庫が減少しつつあり、長期的には対策を取らねばならない。

入荷の際のトラック積載料が減っている。品質が少し悪い物がある。

質疑応答

M：メーカー

G：原料問屋

Q-M：産業古紙の発生が少ないが、中小企業のオフィスから出る使用済みの紙が増えていると聞いている。ここから集める手段はないのか？

A-G：オフィス古紙の回収は、ほとんど行われている。ただ中小企業、零細企業は雑居ビルの中に事務所がある事が多く、紙ゴミの回収等をビル管理業者が行っている所が多い。古紙業者は一定量が確保できないとビジネスとしては難しい。中小企業、零細企業からの古紙は回収されているが、産廃業者が扱っている事が多い。

第 27 回 古紙関係協議会

平成 25 年 7 月 24 日（水）午後 4 時 30 分～
於）上野・精養軒 B 1 「銀杏の間」

出席者： 東京都製本工業組合 11 名
東京都製紙原料協同組合 14 名

近藤理事長 挨拶（東京都製紙原料協同組合）

前回、昨年 7 月の会合の時はヨーロッパ発の世界不況のどん底で国内古紙は家庭紙原料が 2 月、7 月と下がり、8 月からは新聞、段ボールなど全品が下がるといった値下げの続く大変厳しい状況でした。今年は自民党安倍政権が経済最優先でデフレ解消、2%の物価上昇を目標に政権運営をしております、昨日発表された政府の月例経済報告では景気回復宣言がありました。紙の業界にも円安による輸入紙の減少から国内メーカーの生産も上がり、洋紙の価格も修正が通っているという影響も出てきているようです。

先日、製本工組さんのゴルフコンペにお招き頂いた時にもお話しさせて頂きましたが、現在、昨年下がった古紙価格をなんとか戻したいという一心で我々組合活動を続けておりますが、もう少し時間が掛かるようです。戻った時には、発生先のお得意様にも還元して行くのが我々の務めだと思っておりますので引き続き、宜しく願い申し上げます。

最後に年々進む電子化の波の中で、出版界も印刷、製本そして我々古紙業界も逆風の中にありますが、ねじれが解消したアベノミクス効果により少しでも、風向きが変わってくることを祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

大野理事長 挨拶（東京都製本工業組合）

為替が円安の影響で輸出が好調のようである。しかし、アメリカの金融緩和による出口戦略を決め

る話が出たとたん、資金の流出で新興国に影響が出てしまった。中国の成長の鈍化により、輸出が将来的に難しくなっても大丈夫のように、お互い頑張っていきたいと思っています。



古紙業界の動向（東京都製紙原料協同組合）

1. 古紙全般に関する現況：赤染直納部長

古紙全般の市況について、古紙の発生が依然として少ない。洋紙メーカー、板紙メーカー、家庭紙メーカーとも製品価格修正の動きがない。輸出価格と国内価格との差が広がってきている。輸出価格が高いため、古紙は輸出に流れてしまっている。現在、各メーカーへの古紙の納入は完納出来ていない。発生は年々減少しており、東京協組の 44 社上物古紙の在庫報告では、ここ 1 年で最低の在庫量となっている。

2. 産業古紙の現況：上田直納副部長

産業古紙の価格は停滞しており変化がない。家庭紙は各問屋の在庫が少なくメーカーからの発注に十分に答えられていない。

発生は年々減少しており、東京協組の 44 社上物古紙の在庫報告では、ここ 1 年で最低の在庫量となっている。

3. 古紙回収にかかわる現況：長井集荷部長

古紙の回収量は昨年と比べ 20% 以上減少している。印刷、製本会社では廃業、倒産が続い

ている。当組合でも毎年廃業による組合員の脱退が10社以上、数年にわたり続いている。集荷業者は現状を維持するのが、やっとの状態である。

製本業界の動向（東京都製本工業組合）

1. 雑誌・書籍

例年、期末、期首には動きが大きくなるが、年々少なくなってきた。書籍は出版量が年々減少して、全体的に需要が少ない。製本業界では季節単価が出てくるのではないかと心配している。雑誌が多ければ多いほど古紙が出てくるのではないかと思うが現在は、難しい状況である。出版業界と印刷業界ではクレーム問題が大変多い。取引慣行の是正を目指しガイドブックを作った。最初の段階で取引先との契約を結びきちんと取引をしていきたい。現在は勉強中ではありますが、今後、東京協組の方とも契約書を作成して取引をしていきたいと考えています。

2. 伝票からカタログ・その他

6～7月は何処に行っても暇である。印刷会社の予備費が少ない。印刷会社からの取引が少ない。全体的に需要が無い。

カレンダーは季節料金がある。印刷面を大きくとり古紙が出にくいものがある。大変な時代になったと自覚している。

製本業界も廃業が多い。原料の処理としてきちんと仕分して見合う価格を取る。

製紙メーカーと原料メーカーの需要のバランスが崩れてもメーカーは古紙の価格修正をしない。大手印刷所と製本の関係も同様である。お互いの会社が生き残っていく事が良いやり方であるはずなのだが、今はおかしくなっている。

質疑応答

S－製本工組

T－東京協組

S－Q：古紙業界の取組みについて

T－A：古紙商品化適格事業所と古紙リサイクルアドバイザーの認定制度を実施して古紙のジャパン・ブランドをより推進させる方法をとっている。J - B R A N Dは現在、新聞と段ボールが該当古紙である。

S－Q：古紙の分別について。グリーンプリンティングと分別方法に違いがあるように感じられる。

T－A：グリーンプリンティングは日印産連「印刷サービスグリーン基準」を基に決められており、古紙再生促進センターとの分別方法の違いがある。グリーンプリンティングについて良く調べて回答したい。

東京返本加工協同組合

第48回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局

去る、2013年8月21日（水）東京ドームホテル5階『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合第48回（平成24年度）通常総会が16時30分より開催されました。



総会に先立ち、16時より西川会計 西川 豪康様による「中小企業投資促進税制拡充について」の研修会が行われ、その後、通常総会の開催となりました。

ご来賓として、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝 様、出版共同流通株式会社 取締役 蓮田センター所長 長田 浩 様、税理士法人 西川会計 西川 豪康 様にご出席を賜り、藤川理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、工藤理事長より冒頭、黒字決算への感謝とベラー設備に対する考え方が述べられ、そして懸念される課題については新たな販路先の研究等を進めるなど役員一同力を併せて課題解決に取り組んで参りたいと挨拶がなされました。続いて司会者より、組合総数23名、出席19名、委任3名であり、今総会が成立した旨の報告がなされました。

議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により工藤理事長が議長に選任され審議に入りました。

今総会では、第1号議案～第8号議案（①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧役員報酬）の案件が提案されており、議長並びに各理事より上程され、各議案ともスムーズに全会一致にて原案通りに可決されました。

事業報告では、雑誌プレス加工量 前年比106.21%、組合直扱い分 前年比108.01%と、前年を上回る扱い量となった事は、業界全体がマイナス傾向にある中、取次会社の施策寄与による業量増加とプレス化率向上の成果であった事が報告されました。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社 取締役蓮田センター所長 長田 浩様より祝意と雑誌ジャンル別動向や販売ルート

別業量動向等にも触れ、出版界の変化に対応しながらプレス化拡大等に取り組むと共にパートナーシップのより緊密な協力関係を築き、紙をベースにした商売の更なる業績向上に繋げていきたい、とのご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、司会の藤川理事より、今総会を節目とし理事一同さらに研鑽し、組合員のご協力をお願いしたいとのご挨拶がされました。

総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『シリウス』の間に移し日本出版販売株式会社 代表取締役会長（出版共同流通株式会社 代表取締役会長兼任）古屋 文明様、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様、をはじめ取次各社様、出版共同流通株式会社様、総勢54名のご出席により富澤理事の司会進行により総会懇親会が開催されました。

開会に当たって、工藤理事長より開会挨拶がなされ、引き続きご来賓を代表して、古屋会長様、近藤理事長様より祝辞を賜り、日本出版販売株式会社 専務取締役 安西 浩和様の乾杯の音頭で開宴となりました。宴中、日本出版販売株式会社様、栗田出版販売株式会社様、株式会社太洋社様、出版共同流通株式会社様、西川会計様、東京都中小企業団体中央会様、東京都製紙原料協同組合様よりご出席のご来賓の皆様のご紹介とご挨拶がありました。



アトラクションでは、物まね芸人 藤川直美さんの美空ひばりや渡辺真知子といった昭和世代には懐かしい人の歌も飛び出し、拍手と笑いの中で、大いに盛り上がるひと時となりました。

立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締めの挨拶をもって19時30分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆々様、誠にありがとうございました。皆々様のご協力に感謝申し上げます。

青年部長就任の挨拶



青年部長 辻 忠敏

この度、青年部部長に就任した(株)辻商店 辻忠敏と申します。

まず、前青年部長の坂内さん、ご苦労様でした。幼いお子さんがいらっしゃるのに青年部会が有るたびに、富士から通われて大変ご苦労された事でしょう。私は副部長として余りお手伝いできず申し訳なく思っています。そして、今期青年部長を受けるに当たり、随分お時間を頂きました。何分にも現在城北支部支部長でもあり、とても受けきれないと思いました。しかし新幹事長に城北支部青年部の工藤嗣人さんが就任すると聞いて、青年部に協力するなら今しかないだろうと思い、部長を引き受けました。私も20数年青年部員をしていますが、青年部の良い所は、支部というカベがなく、すんなりと仲良くなれる事に尽きると思い

ます。本部では支部間交流をしています、支部と言う区切りは思っている以上に厚く、他支部との交流が進まない現状が立ちはだかっているように思います。その点青年部は、支部はもとより、異業種団体の青年部とも垣根なく交流できる強みを持っていると思います。これからの二年間諸先輩方が作ってきた流れを絶やさぬよう、手探りではありますが、工藤嗣人幹事長と二人三脚で青年部を引っ張れば良いかと思しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

理事就任の挨拶



文京支部 川又 伸一

この度、文京支部より推薦を頂き、理事を務めさせていただくことになりました株式会社ヨシカワの川又と申します。

このような大任を仰せつかったのは初めてのことで、あらためてその責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。

10月には東京都製紙原料協同組合の先陣を切って文京支部で海外研修を行うこととなり、インドネシアのジャカルタにある古紙メーカーを見学してまいります。

私は、今まで海外の工場視察に行ったことがございませんので、とても興味があり今から楽しみにしております。

海外研修という貴重な体験をさせていただくので、組合員の皆様と情報交換できるよう、しっかり学んできたいと思っております。

甚だ未熟者ではございますが、重責を果たせるよ

う誠心誠意努めてまいりますので、皆様の温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事就任の挨拶



荒川支部 宮内 啓悟

本年度より理事に就任致しました和幸紙業（株）の宮内 啓悟です

紙とかかわり早20年になります。組合に参加したのは青年部の活動からで6年位になります。

今でも青年部の副幹事長を務めていますが、組合の行事に参加させてもらうたびに新たな出会いがあり、大変勉強になります。

ここ数年組合員が減少しつつありますが、少しでも多くの組合員が、行事に参加したい

勉強になったと思える組合運営に微力ながら取り組んで行きたいと思います

若輩者でございますが、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

理事就任の挨拶



山手支部 鈴木 邦浩

本年度より、東京都製紙原料協同組合の理事を

拝命致しました（有）マル浜鈴木紙業の鈴木邦浩です。

成熟した日本社会がもう一段ステージアップをしようと、政治もアベノミクスを掲げて邁進しているなか、私たちの業界も一段登ることが出来るのか大変難しい局面にきていると思います。人口減少、少子化、電子化による紙媒体の減少など難問山積ではありますが、何処に業界の均衡点があるのかを見据え、微力ではございますが業界発展のため組合員の皆様と共に考え、行動してゆきたいと存じます。

理事就任の挨拶



城南支部 井出 一之

城南支部に所属する井出です。

城南支部には、大勢の先輩諸兄がいらっしゃる中、支部での推薦を頂き、5月の組合総会において、当組合の理事に就任させていただきました。

まだまだ、未熟者ではありますが、よろしくお願い申し上げます。（とは言っても、早いもので、この業界に入ってから干支が一回りしてしまいました。）

弊社は、杉並で裾物を中心として商いをしていますので、上物関係には全くもって疎い状況にありますが、坂田支部長を見習い、支部の皆さんのご意見を組合に届け、支部の隆盛と組合発展のために、微力ながら努力させていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

青年部幹事長就任の挨拶



城北支部 工藤 嗣人

先日行われました、青年部・総会にて、青年部幹事長を務めさせていただくことになりました城北支部（株）工藤商店・工藤嗣人（ツグト）でございます。業界に入って14年目で、まだまだ若輩者ではございますが、皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。工藤商店は、前社長と現社長、そして私で、3代にわたって務めさせていただくことになります。城北支部コンビとなった辻部長とともに、青年部をはじめ、古紙業界を盛り上げるお手伝いを、させていただきたいと思っております。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

青年部総会報告

青年部幹事長 工藤 嗣人

5月20日（月）上野精養軒にて青年部・総会が行われました。青年部員48名のうち、出席は22名で委任状16名ということで、総会は成立している旨を、司会の廣田副部長より報告がありました。開会の辞は私。青年部長挨拶は、次期部長の辻商店・辻様にお願ひし、議長には梨本幹事長が選任され、第5号議案まで進められました。第1号議案 平成24年事業報告承認の件、第2号議案 平成24年度会計決算報告承認の件、第3号議案 平成25年度事業計画決定の件、第4号議案 平成25年度収支予算の件と承認を受け、第5号議案 役員（幹事）改選の件にて、部

長には辻商店・辻様が選任され、会計監事は美濃紙業・近藤（英）様、幹事長には工藤商店・工藤が務めさせていただくことになり、総会は滞りなく閉会となりました。

清風会研修会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局

平成25年7月4日精養軒に於いて清風会恒例の研修会が行われました。今回は、国際紙パルプ商事（株）製紙原料事業本部長 兼 パルプ部長 生田 誠様に講師をお願い致しました。講演内容につきましては「時の視点」でご紹介していますので、そちらをご覧ください。



研修会後の納涼会は、今回で3回目の夫人同伴で5名のご夫妻がお見えになりました。美味しい料理を食べながら話も弾み楽しいひと時が過ぎていきました。納涼会の中で、文京支部の齋藤支部長の奥様が先日行われた組合ゴルフコンペでホールインワンを出したとの報告があり、8月にお祝のパーティを開催するとの事でした。

宴会の終了間際に近藤理事長より、本日まで参加のご婦人5名に花束を贈るサプライズがありました。開催ごとに減っていくご夫妻の参加に対して、今後、1組でも多くのご夫妻が参加するよう期待をこめて会はお開きとなりました。

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局

日時：8月29日（木）

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：上野・東天紅「海燕亭」 参加者：28名

8月29日（木）上野・東天紅「海燕亭」に於いて直納部委員会と納涼会が開催されました。



午後5時から直納部委員会が始まり、最近の古紙の市況説明がありました。その後は、日頃、組合の共販輸出にご協力いただいている（株）松本光春商店と国際紙パルプ商事（株）より海外市況と輸出についての説明がありました。

委員会終了後、納涼会になり楽しい歓談のひと時が過ぎていきました。

組合主催ゴルフコンペ開催

広報部副部長 武田 誠一郎

6月29日（土）恒例の組合懇親ゴルフコンペが「ゴールド栃木プレジデント CC」で開催されました。

参加者の普段の行いが良かったのか快晴で最高のコンディションでのスタートとなり、また製本組

合と紙器協からもご参加を頂き盛会なコンペとなりました。今回始めて妻同伴で参加させて頂きました。同組に同じく同伴で参加された齋藤ご夫妻、何か起きそうな予兆の中、私の第一打はドスライスで、いつも通りの出だしでした。

アウトの6番ショートホールで、私は前のホールバーディで上がってきたのでこのホールも狙うつもりで打ったら右にプッシュアウト、グリーンから離れているので歩きながら女性軍のティーショットを眺めていると私の妻がグリーンにオン、続いて齋藤さんの奥さんがティーショット、ボールはカラーに落ちそのまま転がってグリーンから消えました。

ホールインワンです。目の当たりにしたのは、初めてですが素晴らしいの一言です。

ホール終了後、おめでとうございますと声を掛け何番で打ったんですかと聞くと115ヤードを7ウッドでと笑顔で答えてくれました。

今回のゴルフは、パートナーに恵まれてとても楽しかったです。私のゴルフもだいぶ良くなってきているので次回が楽しみです。

成績は以下の通りでした。

優勝	松本 和之
準優勝	近藤 勝
3位	近藤 行輝
3位	武田 恵子

製本工組との親睦ゴルフコンペ

理事 梨本 竜範

6月16日（日）に東京都製本工業組合が主催する第35回製本人懇親ゴルフ大会に参加しました。場所は千葉国際カントリークラブで当組合から近藤理事長、赤染副理事長、上田理事、梨本の4名が参加しました。当日は朝から強い雨が降る

中、関連会社を含めた総勢 130 名の参加がありました。東京協組から参加した 4 名は同じ組でのプレーでした。朝から降る雨も午後には小雨になり、日頃から組合活動などが一緒になることが多いメンバーでしたのでリラックスしてゴルフを楽しむことができました。



プレー終了後の成績発表のパーティーでは、製本工組の大野理事長の挨拶のあとに、当組合近藤理事長が関連業社代表で現在の古紙事情を含めて挨拶しました。その後、各賞を発表し、ベスグロは 80 で支部対抗の優勝が神田支部でした。

当日は悪天候に関わらず上は 80 歳半ばの方から老若男女大勢で盛り上がり、来年も同会場で開催されるのも決定され製本工組の組織力に驚かされる一日でした。そして、帰るときには雨も上がり渋滞もほぼなく帰路に就くことが出来ました。

青年部幹事会及び納涼会

青年部 大橋 宏之

去る 7 月 9 日（火）、青年部幹事会及び納涼会に参加させていただきました。

私にとって、青年部への参加は数年前に一回、懇親会に出席して以来で、事務所にお邪魔するのも初めてでしたので、楽しみな反面、多少緊張もしていました。ですが、会議室に入るなり、旧知の

高橋さん、廣田さん等から、気さくに声をかけていただき、直ぐに緊張は解けました。気を使っていたきありがとうございます。

その後、各地の市況報告にはじまり、業界をとりまく諸問題に対し、真剣な情報交換・意見交換がおこなわれ、大変有意義で、白熱した会議になりました。

熱い会議が終わると、場所を屋形船に移しての、懇親会になりました

東京湾の夜景を眺め、もんじゃ焼き、お好み焼きに舌鼓をうちながらの、和気あいあいとした懇親会でしたが、やはり皆さん、仕事のことが気になるのか、話題は業界のことが（入札情報、抜き取り問題、海外市況等）多いようでした。私の大好きな女性の話、お金のもうけ話、ギャンブルの話が全然なかったことが、少し物足りなかったです。それにしましても、業界の未来をになう若手経営者の皆様のエネルギーを感じ、日本のリサイクルシステムは当分安泰だなど、安心して帰りました。最後に、この会を取り仕切っておられます、辻部長様、工藤幹事長様、大変ご苦勞様でした。しばらくの間、共益商会からは、私、大橋が参加させて頂くと思いますが、よろしくお引き回しのほど、お願い申し上げます。



支 部 便 り

第9回支部長訪問「中央支部訪問」

荒川支部長 廣田 圭吾

支部長訪問とは、各支部会に他の支部長が訪問し、支部間のコミュニケーションを深め支部の活性化に役立てる事が目的です。

今回は、中央支部に廣田荒川支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に訪問しました。

以下は訪問した支部長がアンケート形式で答えた感想です。



訪問日：平成25年6月14日（金）

会 場：「玉寿司」

参加人数：12名

- ① 雰囲気：ベテランが揃っていた
- ② 会場はどんな感じ：良かった
- ③ 理事会の報告：あった
- ④ 協議事項は：なかった
- ⑤ 懇親会での話題：昔の中央支部の話
- ⑥ 参考になった事：支部変革の流れ
- ⑦ 自分の支部で実行したい事：なかった
- ⑧ 同行者の感想：在籍支部員に対して出席率の高さに驚かされた（欠席が少ない）
- ⑨ 今回訪問に参加して：良かった
- ⑩ この企画を続けた方がいいですか？：続けたいと思う。
- ⑪ 今回の訪問で感じた事：支部の特色を感じて勉強になった。

山手支部 従業員慰安会

山手支部 中谷 浩康

去る、8月3日（土）午後6時より椿山荘に於いて、家族従業員慰安会が開催されました。当日は、大人47名、子供3名、幼児6名の計56名のご参加を頂きました。

司会の厚生部長の土屋氏の開会の辞で始まりしました。まずは、長井支部長のご挨拶があり、宇都木氏の乾杯のご発声で会食、歓談へと移りました。宴もたけなわの中、恒例のビンゴゲームの開始となり、大いに盛り上がりしました。

あっという間に時間が過ぎ、鈴木理事のご挨拶と三本締めがあり、最後は、全員で写真を撮ってもらい、お開きとなりました。

今回も支部員はじめ家族従業員の皆様には大変お世話になり、楽しい会となりました。有難うございました。



城南支部 納涼会を開催

城南支部長 坂田 智

城南支部恒例の納涼会は7月27日の土曜日に天王洲の第一ホテルコンフォートの29階で開催されました。この日は、隅田川の花火大会の日でこのホテルからも遠くに花火が見えるという事で1年前から後藤商店が押さえてくれていました。納涼会は私の挨拶のあと前副理事長の坂田秀一郎さんの乾杯により開始されました。御来賓には、

大同生命の小川さんが御休みにも関わらずにおいで頂きました。



食事とお酒も入り皆さん絶好調になったところで、一斉にカーテンが開き花火が始まりました。最初はガスっていてはっきり見えなかった花火も時間が経つにつれて、はっきりときれいに見えるようになりました。さらにお酒もが進むと団らんも和気あいあいと盛り上がりました。ふと窓に目をやると、花火が見えなくなり、すごい雨が降り始めました。後で知りましたが、この豪雨で花火も中止になり残念でしたが、ホテルの中ということもあり、すぐに忘れしました。そしてお待ちかねのビンゴ大会が始まりました。このような趣向をいつも考えてくれるのが、宴会の天才井出紙業の井出専務です。

司会を井出さんのあとを継いで坂田亮作商店の専務の二人の息子と彼女が、努めて盛り上がりました。賞品の一部を大同生命さんから寄付していただき有難うございました。

盛り上がった宴会も時間が過ぎ中締めを新副理事長の赤染清康さんによる、万歳三唱で締めくくり、散会となりました。

文京支部 納涼会を開催

文京支部長 齋藤 浩二

8月8日東京都製紙原料協同組合文京支部納涼会が浅草橋・傳丸にて開催された。

当日は酷暑厳しく、夕刻になってもハンカチが手放せなかったが、情緒あり昭和の香りがする傳丸の雰囲気暑さを忘れさせてくれた。総勢20名の納涼会は三弘紙業(株)森山常務取締役の司会で進行され、支部長(株)グリーン齋藤代表取締役の挨拶から始まり、全員の自己紹介にて和やかな雰囲気になった後、おいしい料理を頂き、お酒を酌み交わしながら皆で情報交換を行った。特に普段会う機会が少ない女性同士のやり取りは大変有効なものとなった。あっという間に三時間が過ぎ、最後に支部会の益々の発展を祈念して全員で記念撮影を行い、有意義な納涼会はお開きとなった



江墨支部 納涼会を開催

江墨支部 木内 茂樹

本年度の暑気払いは7月20日18時30分より錦糸町「うさ美」にて行いました。関連組織の暑気払い等と重なってしまい、青年部主体となりました。

山口支部長を中心に参加者11名が連日の猛暑を忘れて意見交換や各事業所の近況などを話し、大変有意義な夏の夜のひと時となりました。

下半期も江墨支部一同、団結し業界発展の為、頑張っ参りたいと、それぞれ決意をして終了となりました。

台東支部 納涼会を開催

台東支部 坂田 雄司

7月17日(水)午後6時30分浅草「月見草」にて支部会及び納涼会開催しました。

梅雨明けと共に35℃以上と猛暑が続きましたが本日は幾分涼しくなりました。

開催時間にはあいにくの雨になりましたが近藤新支部長のもと9名にて開催の運びとなりました。

美味しく食事を堪能できるよう雰囲気と美味しい料理を出す店を設定して下さる幹事に感謝です。

今回もフルコース的な料理でした。

今年の夏はかなり暑くなる様なので熱中症にならぬよう、今日充分生気を養って仕事を頑張ろうと一同盛り上がりました。



組合員の広場

「ガソリンカードのご利用」について

(都市近代化事業組合の事業)

東京都製紙原料協同組合 事業部

ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

ここのところガソリン価格が高騰しております。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる

事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、軽油が約9円ほど安く購入できます。**

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用するとう自動的に割引料金がカード決済されます。

この他にも、**ETCカード利用による高速料金のポイント還元**などのお得なサービスもごございます。

いずれも東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先： 東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

♪ことわざミニ知識♪

「石に漱(くちすす)ぎ、流れに枕(まくら)す」

負け惜しみが強く、自分の誤りに屁理屈を付けて言い逃れる類。中国、晋の孫楚(そんそ)が「石に枕し、流れに漱ぐ」を「石に漱ぎ、流れに枕す」と言い誤ったのを、「石に漱ぎ」は歯を磨くため、「流れに枕す」は耳を洗うためだとこじつけて弁解した。

夏目漱石の本名は夏目金之助だが、「漱石」はここから。「流石」(さすが)もここから由来している。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 10月 7日(月) 水道橋 菜の家

支部会 11月 7日(木) 水道橋 菜の家

中央支部

支部会 11月 8日(金) 大門酒家

文京支部

支部会 10月 8日(火) 東明飯店

支部会 11月 8日(金) 寿し常本店

海外研修 10月22日(火)～26日(土)

台東支部

支部会 11月末予定 組合会館

荒川支部

支部会 10月10日(木) 四丁目町会会館

支部会 11月10日(日) 四丁目町会会館

足立支部

支部会は未定

山手支部

支部会 10月19日(土) やなぎ

支部会 11月19日(火) やなぎ

城南支部

支部会 10月10日(木) 大崎出張所

江墨支部

支部会 10月19日(土) うさ美

支部会 11月20日(水) うさ美

城北支部

支部会 10月12月は休会

忘年会 11月 場所未定

お知らせ

[9月会議・催事予定]

9月27日(金) 東資協との懇談会(pm5:00～)

懇親会(pm6:10)

上野・精養軒3153店

(サイゴーサン)

9月30日(月) 古紙センター業務委員会

(pm2:15～)

センター会議室

〃

全原連役員会(pm3:30～)

センター会議室

[10月会議・催事予定]

10月 2日(水) 第3回共同購入検討委員会

(pm4:30～)

上野・東天紅「海燕亭」

10月 3日(木) 共販輸出検討委員会(pm3:00～)

組合会議室

〃

常任理事会(pm3:30～)

理事会(pm5:00～)

組合会議室

10月10日(木) 紙リサイクルセミナー

星陵会館ホール

(pm1:30～pm4:55)

10月17日(木) 清風会ゴルフコンペ

千葉バーディクラブ

10月24日(木) 関東地区委員会(pm2:00～)

古紙センター会議室

10月28日(月) 古紙センター業務委員会

(pm2:15～)

古紙センター会議室

〃

全原連役員会(pm3:30～)

センター会議室

〔古紙価格〕**〔東資協の古紙 4 品の標準売値〕**

平成 25 年 8 月 8 日現在

新 聞	8 円～ 10 円 (横ばい)
雑 誌	6 円～ 8 円 (横ばい)
段ボール	7 円～ 9 円 (横ばい)
色上 (並)	6 円～ 8 円 (横ばい)

〔訃報〕

・足立支部：近藤紙業 (有)「代表者 近藤 繁樹様」
 のご尊父 近藤 利文 様 (享年 85) が
 平成 25 年 7 月 24 日にご逝去されました。

会 議 概 要 [6 月・7 月]**6 月度定例理事会**

〔平成 25 年 6 月 4 日 (火)〕 pm 5:00

出席理事 27 名・監事 0 名 於) 組合事務局

近藤理事長挨拶

先日の総会は役員改選期でもありましたが、皆様のご協力により滞りなく進行出来ました事を改めて御礼申し上げます。有難うございました。又、本日は実質、第一回目の役員会ですが、何かとお忙しい中、ご出席頂きまして有難うございます。今年度も各事業部で計画が出されており、それに則って進めて行きたいと思いますが何と言っても今年度は組合員数 188 社とここ数年で 40 社程減少してしまい、財政が大変厳しくなっております。その為にも早く、空いているテナントを埋めなければならないし、共同購入による事業収益も上げて行きたいと思っております。本日は共同購入の検討委員会立ち上げを致したいと思っております。

で宜しくご検討お願いいたします。

来月になりますと清風会の納涼会があります。夏は夫婦同伴となりますのでより一層懇親を深める為にも、是非とも大勢のご出席をお願い致します。アベノミクス効果が我々の業界に及ぶのはもう少し先になるかと思いますが、組合としては常に価格の修正をメーカーに要望して行きますので皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

〔各部報告〕**〔総務部〕**

先日の総会の運営にあたり、理事の方々に協力いただきありがとうございました。

組合会館のテナント募集は、理事長の知り合いの不動産屋のアドバイスを受け保証金の減額と礼金なしで募集をする事とした。

〔直納部〕

6 月度の共販輸出は 3 社が入札に参加した。入札の結果は、国内価格と比べ高値でジェーオーピー (株) が落札した。仕向地は韓国、フィリピン、中国。業者の報告では「コート紙類の引合い及び需給は引続き良くない。価格も弱い、最近の円安傾向を反映した入札価格とした」又、他社の報告では、「雑誌価格の下落に引っ張られケント価格も下がり基調」と「紙板紙製品の需要は依然伸び悩んでおり、古紙の発生が良くない事から供給力が低下し、対中価格は底打ちし上昇している。ただ中国における紙板紙需要は回復していないことから大幅な価格上昇はない。」

輸出は、連休明けより回復しつつある。雑誌、ミックスの価格が低位となっている。中国の製品在庫は横ばい。

国内の市況は変わらず、注文量も横ばい。

〔品目別市況〕

〔家庭紙、新聞、雑誌〕 雑誌は原因が分からないが先月より価格が大きく下がっている。新聞、段ボールの価格は上がってきている。段ボールは夏

の飲料用の発注が増えてくると予想される。段ボール原料の価格は上がり製品価格も上がり国内は厳しい状況にある。

家庭紙原料は発生が悪く原料在庫は減少している。

「オフィス古紙」発生は低調で落ちついている。ミックス、雑誌の価格が下がってきている。

【集荷】

5月の連休から発生が悪い。製本関係は平日でも休業する所が出ている。株主総会に関する物も数が少なく、輸転物も減少している。集荷は厳しい状況にある。

【広報部】

これから6月総会号の準備に入る所です。中心は総会の記事で新役員の挨拶、副理事長、新業務部長、新支部長、新理事の挨拶と各支部での総会の記事を掲載する予定です。該当者には原稿依頼書を配付してあるので期限までに提出されるようお願いいたします。尚、6月号全部には掲載しきれないので一部は9月号に掲載になる事をご了承ください。

【事業部】

新理事が加わったので事業部で行っている収益事業について改めて紹介したい。加入出来るものは是非、加入して欲しい。

【青年部】

6月11日に部会と勉強会を兼ねた委員会を開催する予定。

【近代化推進委員会】

- ・需給委員会・・・海外視察は中止
- ・他の委員会・・・委員会出席者がいないので全原連理事会配布の議事録で後日、参照して下さい。

【その他】

協議事項

- ・小松のフォークリフトについて・・・共同購入の対象商品として扱う事で方法を検討する。

- ・共同購入検討委員会を本日立ち上げる

近藤理事長 ・ 委員10名（副理事長、業務部長、廣田理事、松井理事、専務理事）の合計11名

7月18日（木）に第1回共同購入検討委員会を実施する事となった。

- ・業部部長6名に対し委嘱状を授与した。

（上田総務部長、赤染直納部長、長井集荷部長、清水広報部長、坂田事業部長、辻青年部長）

- ・7月4日（木）理事会終了後の清風会について
会場：上野精養軒 時間：研修会（pm5:00）納涼会（pm6:00）同伴参加有り
参加費：1人12,000円

古紙センター関東地区委員会

「平成25年6月18日（火）」pm4:00～
於）古紙センター会議室

【需要動向】 13／5月 単位トン、
（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

【関東商組 32 社実績】

【新 聞】	仕入	64,143(94.5%)
	出荷	65,098(95.0%)
	在庫	9,171(14.1%)
【雑 誌】	仕入	57,725(99.4%)
	出荷	60,009(100.5%)
	在庫	8,277(13.8%)
【段ボール】	仕入	124,570(96.5%)
	出荷	126,049(100.3%)
	在庫	10,614(8.4%)

【関東・静岡実績】

【新 聞】	入荷	209,351(97.0%)
	消費	207,111(101.7%)
	在庫	127,151(61.4%)

[雑 誌]	入荷	108,141(94.6%)
	消費	106,128(89.7%)
	在庫	68,911(64.9%)
[段ボール]	入荷	284,905(101.6%)
	消費	273,038(96.2%)
	在庫	108,025(39.6%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌・段ボール〕

5月の発生は3品とも減少。特に新聞が悪く、チラシが減少している。販売価格は変化なし。仕入価格は、じり高。6月は前月と比較すると大幅に減少。輸出は底を付いた感じで増えており、5月の輸出量は約5万トン。輸出価格は上昇。

〔上物古紙〕

産業古紙は5月が非発生期で低調。家庭紙は低いレベルで推移し、需給は落ちついている。高額商品やペーパータオルが伸びており値上げに向けた環境は整っているようである。5月は古紙原料の引合いが強い。産業古紙の在庫は44社統計で家庭紙、DIP向け共に過去1年で最も低い在庫となっている。

〔メーカー側コメント〕

新聞は4月、5月と発生が悪いためか、入荷が前年に比べ良くない。6月に入っても入荷の改善のきざしは出ていない。古紙の在庫量は例年に比べ低いが生産に対する影響は出ていない。雑誌の入荷は堅調。在庫は6月から減少傾向。

段ボールの生産量は4月、5月は前年と比べ2～3%増。6月も同様の動き。引越用や宅配用が好調。古紙の入荷は4月に比べ悪いが消費量も悪い。6月は増産基調で発注を増やしたが、増加分が入らない。

集直合同委員会

〔平成25年6月19日（水）〕 pm 5:00

於）組合事務局

出席委員18名（直納13名・集荷5名）

近藤理事長挨拶

ここにきて裾物、上物の古紙の需要が増してきた。家庭紙も古紙の需要が増してきており、以前と状況が大分変わってきた。本日は前記の件を含め27日の家庭紙部会に向け対策等の話し合いをしたい。

家庭紙について

発生が悪い。

原料問屋は在庫が少ないが何とか維持している。

東京協組44社の上物古紙在庫報告では、過去1年で最低の在庫となっている。

輸出について

輸出価格は内外格差が広がっている。

東京協組での6月度の入札でも国内価格より高い価格で落札。

輸出で雑誌が暴落しても国内より高い価格を維持。

集荷の状況

発生は前年に比べ20%減少している。

今の古紙価格では選別費が出来ない為、集荷先で選別をしていない場合が多い。

製本工組では過去に組合員が1500社いたが現在は600社になっている。

各問屋の状況

現在は追加注文については対応が出来ないためメーカーに断っている。

洋紙メーカーが原料を確保しようとする動きが出てきた。

製品値上のために原料価格を上げる事を考えてほしい。

古紙センター業務委員会

[平成 25 年 6 月 24 日 (月)] pm2:15 ~

於) 古紙センター会議室

[1] 第 9 回理事会(臨時理事会)の報告について

定時評議会の報告と臨時理事会の報告

[2] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成 25 年度 第 2 回 理事会報告

平成 25 年 6 月 24 日 (月) 15:30 ~ 17:00

於) 古紙再生促進センター

理事・監事 6 4 名:出席 6 4 名

(内、委任出席 30 名) 欠席 0 名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会 (6 月 24 日開催)

◎第 9 回理事会(臨時理事会)等の報告について

*代表理事・業務執行理事の選出(任期:平成 25 年 6 月 24 日~27 年 6 月)

代表理事(理事長): 岩瀬広徳(日本製紙(株)代表取締役副社長)

業務執行理事(副理事長): 島村元明(王子ホールディングス(株)取締役)

栗原正雄(栗原紙材(株)代表取締役社長)

大久保信隆(株)大久保代表取締役社長)

業務執行理事(専務理事): 木村重則((公財)古紙再生促進センター)

業務執行理事(常務理事): 中村好伸((公財)古紙再生促進センター)

理事: 青山直樹(日本商工会議所)・有光淳一郎(日本紙料(有))・石川喜一郎(株)石川マテリアル)・内山謙士郎(株)丸升増田本店)・上河潔(日本製紙連合会)・北村光雄(大和板紙(株))・工藤崇(機械すき和紙)・小六信

和(明和製紙原料(株))・近藤勝(美濃紙業(株))・紺野武郎(株)三栄サービス)・佐藤清隆(株)丸佐商店)・佐野一(株)丸興佐野錦一商店)・鈴木隆(日本容器包装リサイクル協会)・長澤幸治(興亜工業(株))・星川一洋(丸住製紙(株))・林康司(三菱製紙(株))・松浦忠雄(北越紀州製紙(株))・三宅博(特種東海製紙(株))・山崎浩史(大王製紙(株))・矢倉義弘(大和紙料(株))・油井喜春(日本印刷産業連合会)・渡邊啓一(日本鉄リサイクル工業会)

監査: 福留幸朗(北上製紙(株))・須長利行(株)二見)

◎全国小中学生「紙リサイクルコンテスト 2013」募集の協力依頼について

・募集対象:全国の小学生・中学生 募集部門:作文、ポスター

募集締切:平成 25 年 10 月 18 日(金)

◎今後の日程について

平成 25 年 7 月 29 日(月) 14:15 ~ 15:15

第 4 回 業務委員会(センター会議室)

(2) 全原連 関係

◎審議事項

1.「J-BRAND」の実施について

*全原連近代化推進事業の内「優良性評価 3 事業」の仕上げにあたって

*優良性評価 3 事業(古紙商品化適格事業所・古紙リサイクルアドバイザー・日本古紙品質認定制度(J-BRAND))

*J-BRAND 制度の基本的要件

・基本概念:日本古紙の品質維持向上と仕様(スペック)の均一化

・認定条件:①全原連認定「古紙商品化適格事業所」で商品化された古紙

②全原連認定「古紙リサイクルア

ドバイザー」資格を持つ「古紙品質管理責任者」を有する事業所
 ③全原連の定める「古紙品質管理順書」に基づいて商品化（古紙再生促進センター「日本古紙品質規格」）された古紙

・古紙品質管理責任者の役割

①古紙品質管理手順書に基づいた古紙商品化過程の指導及び進捗管理

②古紙品質管理手順書に基づいた古紙商品化過程の履歴（入荷検品・作業工程での品質管理・出荷検品）管理

③古紙商品化に必要な品質情報の収集ならびに伝達指導

④関係事業所の QC サークルの運営

2. 古紙商品化適格事業所認定申請について（理事会 承認）

・5月15日4社5事業所
 （申込累計415社816事業所）

・6月15日2社4事業所
 （申込累計415社820事業所）

古紙リサイクルアドバイザー認定申請について
 （理事会 承認）

・5月15日2社5名（申込累計468社2,509名）

（3）各委員会報告

●経営革新委員会

＊「日本古紙品質認定制度（J－BRAND）」事業進捗状況報告の件

・全原連運用開始時期：平成25年4月1日～7月1日予定

北海道商組・関東商組・東京都協組・静岡県商組（4月1日）、

中部商組・東北協組（7月1日）より連絡あり。

・平成25年10月までに全国実施を目指す。

＊「古紙品質管理責任者」の件

・古紙品質管理責任者認定試験受験料（組合員1名1,000円テキスト・問題含む）

・品質管理責任者認定試験の実施は平成26年2月までに認定試験を終了する。

＊古紙リサイクルアドバイザー用サブテキスト「紙のリサイクル」活用の件

・各地区委員会（古紙センター）の窓口へ配布してどうか。（各単組で取り纏め事務局へ7月末まで連絡下さい）

＊安全防災委員会

・中災防正会員加入（年会費8万円）の件、ベラーメーカーのプレゼンの件。

●渉外広報委員会

・「全原連リーフレット」7000部完成、各単組配布部数募集した結果6月21日現在5450部あり追加4000部増刷

◎業務災害補償制度への加入について

・全国中小企業団体中央会より「所得補償制度」の拡充に関する件

◎経済産業省との懇談会（6月20日開催）

①廃棄物再生事業者登録の推進については今後、経済産業省、環境省、全原連3社で定期的に懇談会を実施すること

②安定価格帯への復帰については公取の関係、当面は各問屋がそれぞれ直に取引先（メーカー）と協議する方向で動く

③古紙持ち去りについて（中部商組、関東商組の最近報告）

◎リサイクルシステム議員懇談会について

・日時：平成25年6月20日（木）17:00～18:00

場所：衆議院第1議員会館

議題：（1）中古車リサイクル（2）リユースびんの利用促進

（3）容器包装リサイクル法の改正等

・（3）については全原連理事長から3点の要望

をお願いした

- ①再商品化施設の設置許可手続きは、平成 11 年 9 月に厚生省が都道府県等に対して円滑に進めるよう通知している。現在も有効であるので対応を要望する
- ②段ボールについては回収率が 100%を超えているので今後とも民間の回収システムを活用する
- ③紙制容器の識別マークは製紙原料として不適であることが分るものにしたい

7 月度定例理事会

[平成 25 年 7 月 4 日木)] pm 4:00

出席理事 3 2 名・監事 0 名 於) 上野・精養軒
地下 1 階「銀杏の間」

近藤理事長挨拶

先月は都議会議員選挙がありました。自民、公明が全員当選という圧倒的にアベノミクス支持の選挙でした。当組合でもいつも顔を出して頂いていた高島都議会自民党特別顧問もお陰様で足立ではトップ当選をさせて頂き有難うございました。先日お会いした時は私が落選していた時期でもいつも組合に呼んでくれたと大変感謝されておりました事をご報告いたします。

先月 6 月は経済産業省の課長、課長補佐の交代があり、又、古紙センターの理事・評議員の改選もありました。そして月末には家庭紙 3 団体懇談会が富士で開催され、続けて組合コンペが製本工組 4 名、紙器組合 3 名を交え 8 組と盛大に開催する事ができました。今月も本日の清風会が終了しますと共同購入検討委員会、製本工組古紙関係協議会と続きますが皆様のご協力を宜しくお願い致します。

先日発表されました 6 月の日銀短観は上昇という

事で、業種はまちまちですが着実にアベノミクス効果により景気は上昇しているようです。又、一方では昨日の日経の一面に角川、学研等の出版社は今後の新刊はすべて電子化するという記事が出ておりました。ご存じの方は後ほどその辺を詳しく教えて頂ければ有難いと思います。本日もこの後、清風会の講演会、懇親会と長時間続きますがどうぞ宜しくお願い申し上げます。

[各部報告]

[直納部]

7 月度の共販輸出は 2 社が入札に参加した。入札の結果は、国内価格と比べ高値で国際紙パルプ商事(株)が落札した。仕向地は中国。業者の報告では「中国の紙板紙の需要は依然、低迷しておりますが、輸出国における古紙の供給率が低下し、対中価格は上昇しております。ただ中国における紙板紙需要は回復していないことから、大幅な価格上昇はないと思われます」また他社のコメントでは「段ボールの輸出価格が上昇している。雑誌、ケントは底打ち感がある」との事。輸出は持ち直してきており輸出価格は国内との内外格差が広がっている。特に段ボールの価格差が広がっている。問屋在庫もランニングストック以下の状態。問屋の家庭紙古紙の在庫も減少しており、ここ 1 年間では最も低い在庫状況である。

共販輸出に参加していた(株)ジェーオーピーは、諸事情により 7 月から入札停止する事になった。

[品目別市況]

[家庭紙、新聞、雑誌] 産業古紙の発生は良くない。家庭紙原料の価格修正を期待するのは秋口まで難しいようである。上物古紙は、裾物 3 品と同じように古紙の輸出価格と国内価格の差が広がってきている。

[集荷]

発生は悪く状況は先月と同じ。製本関係では定期的に出ていた物が減少した。印刷関係も量が減少

している。厳しい時期である。

[広報部]

広報誌は、6 月総会号がお手元に届いたと思う。現在、広報誌は、9 月号の準備をしている。「時の視点」では本日開催される清風会研修会の講演内容を掲載する予定。講師は国際紙パルプ商事（株）の生田本部長。テーマは「中国・その他近辺国への輸出と海外の市況について」。「時の話題」では 6 月に行われた静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会と 7 月に行われる製本工組との古紙関係協議会の模様を掲載予定。他は総会号で、掲載出来なかった新業務部長、新支部長、新理事の挨拶。組合ゴルフコンペや各支部の納涼会を掲載予定。組合総合名簿の発行について討議する。広告掲載料は基本的には 1 件 3 万円とする。新規広告掲載について関係業者やメーカー等で 20 数社ほど追加出来る予定。

[事業部]

本日、清風会の研修会と納涼会を開催予定。

[青年部]

7 月 9 日に幹事会と納涼会を開催する予定。7 月 27 日に印青連との工場見学と納涼会。8 月 12 日に東資協との合同勉強会を開催。9 月 10 日に幹事会と部会で IT 勉強会を開催。10 月に製紙メーカーの見学会を予定している。

[近代化推進委員会]

5 月 23 日に福岡で行われた各委員会の議事録を配付してあるので確認しておいてほしい。

[その他]

協議事項

- ・台東支部 三晃紙業（株）の賦課金、支部費の未払いによる除名処分について臨時総会を開催する事に決定。

開催日時：平成 25 年 9 月 4 日（水）午後 6 時より組合会議室に於いて開催。

- ・東資協との懇談会について・・・開催日 9 月

27 日（金）組合会議室に於いて開催。

- ・理事会終了後の食事会について・・・当日キャンセルの場合はキャンセル料をもらう事とする。今後、案内に詳細を載せる。

古紙センター関東地区委員会

[平成 25 年 7 月 22 日（月）] pm 4:00 ～
於）古紙センター会議室

[需要動向] 13 / 6 月 単位トン、
（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新 聞]	仕入	60,978(93.3%)
	出荷	62,030(91.9%)
	在庫	8,119(13.1%)
[雑 誌]	仕入	50,996(98.1%)
	出荷	52,355(95.7%)
	在庫	6,918(13.2%)
[段ボール]	仕入	120,684(93.8%)
	出荷	121,686(90.6%)
	在庫	9,612(7.9%)

[関東・静岡実績]

[新 聞]	入荷	195,952(99.8%)
	消費	198,754(100.3%)
	在庫	124,350(62.6%)
[雑 誌]	入荷	100,197(87.9%)
	消費	112,287(96.8%)
	在庫	56,821(50.6%)
[段ボール]	入荷	275,301(94.3%)
	消費	310,984(103.3%)
	在庫	72,342(23.3%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌・段ボール〕

6月の新聞の発生は前年と比べ本文は変わらないがチラシが減少している。雑誌の発生は減少している。

段ボールは、仕入、販売とも変化ない。仕入価格は全国的に高値が出ている。仕入は3品合計で前年並みである。輸出は中国への輸出が弱めの推移で良くない。輸出量に変化はない。

〔上物古紙〕

産業古紙は5月の連休後、非発生期で低調。各問屋は在庫が少なく、家庭紙メーカーへの納入量を減らしている状況。

DIPの引合いは強く、問屋在庫は5月より更に減少している。輸出価格と国内価格との価格差が広がっている。

〔メーカー側コメント〕

新聞の6月の入庫は前年並み。在庫率は低い状態。雑誌の発注は横ばいで、発生は悪い。白板は良くない。

段ボールは各社で6月末の在庫が減少。消費は落ちている。

古紙センター業務委員会

〔平成25年7月29日（月）〕 pm2:15～

於）古紙センター会議室

〔1〕平成25年度紙リサイクルセミナーについて

〔2〕集団回収実施団体への感謝状交付について

（近畿地区委員会推薦）

〔3〕匂いのついた紙の古紙への混入注意について

〔4〕平成25年度7月～12月段ボール・新聞・

雑誌の消費計画について

〔5〕古紙の需要・市況動向について

＊ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成25年度第3回 理事会報告

平成25年 7月29日（月） 15:30～

17:00 於）古紙再生促進センター

理事・監事64名：出席64名（内、委任出席35名）欠席0名

（1）古紙再生促進センター 関係

●業務委員会（7月29日開催）

◎平成25年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

・段ボール：平成25年7月～9月見直計画

1,890,386 t（前年比103.9%）

平成25年10月～12月計画

1,965,722 t（前年比102.9%）

・新聞：平成25年7月～9月見直計画

935,181 t（前年比101.3%）

平成25年10月～12月計画

953,857 t（前年比102.9%）

・雑誌：平成25年7月～9月見直計画

549,785 t（前年比100.1%）

平成25年10月～12月計画

573,839 t（前年比104.3%）

◎平成25年度紙リサイクルセミナーについて

・開催日時：平成25年10月10日（木）

13:30～16:55

・開催場所：星陵会館ホール

・主催、後援：公益財団法人古紙再生促進センター、経済産業省

・募集人員：350名程度

・講演：①海外の機密文書処理とリサイクルについて

②国内の機密文書処理について

③ガイドライン作成に向けてについて

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

・推薦地区委員会：近畿地区委員会、

推薦団体：3団体

◎匂いのついた紙の古紙への混入注意について

- ・臭いのついた紙（箱、段ボール）の古紙への混入について、7月の関東地区委員会で回収雑誌の中から香りシートの箱が発見されました。

◎今後の日程について

平成 25 年 9 月 30 日（月）14:15 ～ 15:15

第 5 回 業務委員会（センター会議室）

平成 25 年 10 月 28 日（月）14:15 ～ 15:15

第 6 回 業務委員会（センター会議室）

平成 25 年 11 月 27 日（水）14:15 ～ 15:15

第 7 回 業務委員会（センター会議室）

◎夏期一斉休業について

- ・平成 25 年 8 月 12 日（月）～ 8 月 16 日（金）

（2）全原連 関係

◎審議事項

- ①第 2 回中日古紙セミナー及び B I R ワルシャワ会議について（理事会上程 承認）
- ・第 2 回中日古紙セミナー（中国／杭州地区）
日程：平成 25 年 11 月 5 日（火）～ 8 日（金）
派遣人数：6 名（内訳）栗原全原連理事長、大久保関東商組理事長、藤川需給委員長、通訳 1 名、その他地域より 2 名
募集期間：7 月 29 日～ 9 月 13 日
派遣者決定：9 月全原連正副理事長会
- ・ B I R ワルシャワ会議
日程：平成 25 年 10 月 27 日（日）～ 29 日（水）
派遣人数：3 名以内（各単組からの推薦）
募集期間：7 月 29 日～ 9 月 13 日
派遣者決定：9 月全原連
- ②古紙商品化適格事業所認定申請について（理事会上程 承認）
- ・7 月 15 日 3 社 3 事業所（申込累計 417 社 823 事業所）
- ③安定価格帯への復帰について（理事会上程 承認）

- ・要請文については全原連の対応として今後、経済産業省を通し検討してもらう。
- ・古紙センター主催による需給両業界については事前に各地区委員会正副委員長会を開催して意見交換を行い、独禁法に触れないように注意し充分に検討すること。

（3）各委員会報告

●経営革新委員会

- * 古紙品質管理手順書（改訂版）について

- ・古紙再生促進センターの意見も参考に「古紙品質管理手順書」改訂版を作成し、9 月全原連理事会の承認を得る。

- * 「古紙商品化適格事業所」の「品質管理責任者」認定試験の実施について

- ・品質管理責任者認定試験の実施は平成 25 年 4 月～ 26 年 2 月の間に行う。

- ・品質管理責任者認定試験用テキスト及ぶ問題集については各単組で必要部数を全原連事務局を提出願います。

- * メーカーの古紙検収歩引きについて

- ・歩引きの実態が曖昧で古紙センターの「古紙品質基準規格表」に合わないので関東商組では段ボール古紙検収引き（歩引き）実態調査を開始する。全原連でも実態調査を行い、結果（利用方法）については再度検討する。

● I T 推進委員会

- ・東芝「製紙原料卸システム」の説明会を 10 月 3 日北海道、11 月 20 日四国で開催予定。

● 渉外広報委員会

- ・「全原連紹介リーフレット」については 7,000 部作成し、現在各単組に配布完了し在庫がありません。追加印刷を予定しておりますので各単組での要望部数を全原連事務局まで連絡下さい。

広報誌 表紙写真募集の件

広 報 部

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、今後その写真の利用ができなくなりました。

そこでこの機会に、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思います。

下記の要領で、奮って写真をご応募ください。

お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

提出先：

〒 110-0016 東京都台東区台東 3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail : info@kosi-tokyo.or.jp

ご質問等は、事務局までお気軽にご連絡ください。



編集後記

広報部副部長 脇 克美

昨年の夏も熱い夏でしたが、今年7、8月の猛暑、酷暑は今までになく異常な事態でした。また、日本各地を突然のゲリラ豪雨が襲い甚大な被害をもたらしています。東京でも何回か見舞われ、空が暗くなってきたかと思うと、突然の豪雨、外出をしていると傘もなく、なす術もなくびしょ濡れとなりました。夏の風物詩である花火大会や行事がいくつも中止となってしまいました。

そんな異様な夏でしたが、夏にはお盆、終戦記念日、広島・長崎の原爆忌など先人や祖先に思いを致し、手を合わせるという大事な行事もあります。我が家では7月に墓掃除や法要をしますが、8月に故郷で先祖に手を合わせるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。いずれにしても折をみて先人、祖先に思いを致すことは大事なことだと思います。

まだしばらくは暑い日が続くと思いますが、十分体調に気をお使い下さいませ。また少し涼しくなると夏バテの症状があらわれるとも聞きます。ご自愛のほどを。

.....

広報誌掲載の広告募集について

*組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきましては、組合事務局までお問合わせください。